

2014 年度 第 79 回日本オープンゴルフ選手権 開催コースのご紹介

【千葉カントリークラブ・梅郷コース】

都心から車でおよそ 1 時間。千葉県北西部に位置する野田市に野田コース、川間コースに続き 1959 年（昭和 34 年）に千葉カントリークラブの 3 番目のゴルフ場として開場した。

開場から 2 年後の 1961 年（昭和 36 年）には関東プロ選手権競技（優勝：中村寅吉）が開催され、さらに 1 年後の 1962 年（昭和 37 年）には日本オープンゴルフ選手権競技（優勝：杉原輝雄）を開催している。

2000 年（平成 12 年）より、中長期のコース整備計画の指針となる各コースのコンセプトを定め、梅郷コースについてはその中で「本格的チャンピオンコース」を目指すとし、2001 年（平成 13 年）から一部テンポラリーグリーンを使用し、営業しながらのワングリーン化工事が進められた。

グリーン廻りの改造工事が終了した 2005 年（平成 17 年）には、この年より始まった「HITACHI 3 ツアーズ・チャンピオンシップ」が開催された。

2007 年（平成 19 年）には、6 月に関東ゴルフ連盟主催の関東アマチュアゴルフ選手権決勝会場として決定していたが、5 月にマンシングウェアカップで国内男子ツアー最年少優勝記録を更新したばかりの「ハニカミ王子」こと石川遼選手の同選手権への出場がすでに決まっていたこともあり、関東ゴルフ連盟主催の競技としては異例の 4 日間で約 12,000 名というギャラリーを動員するという事態となった。

また、同年からは「朝日杯・信夫杯」の開催コースとして梅郷コースを提供しており次世代を担う学生ゴルファーの応援も行ってきた。

2011 年（平成 23 年）には男子ツアーのダイヤモンドカップを開催し、小田孔明選手が優勝した。

今回の日本オープンの開催は千葉カントリークラブとしては 1962 年（昭和 37 年）以来実に 52 年ぶりの男子のナショナルオープンを迎えることとなるが、開場以来変わらないクラブハウスで半世紀の時を超え、再び日本オープンを開催出来ることをクラブの誇りとし、男子トッププレーヤーの最高の技術を引き出せるような最高の舞台を用意出来たことと思う。

【競技開催実績】

日本オープンゴルフ選手権：1962 年（優勝：杉原輝雄）

日本学生ゴルフ選手権：1969 年（優勝：片山 康）